

会報

No.20

平成元年11月30日

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市左京区岡崎成勝寺町9
京都府立図書館内
TEL(075)771-0069

「ゆたかなこころを」

京都府立図書館長

林 芳 男

力をはぐくむためにも「本を読む子」を育てる必要がある。図書室がどのように利用されているか、もっと皆が強い関心を持つべきだ。

秋晴れの日曜日、母校A小学校の創立百周年記念式典が催され、久しぶりに懐かしい校門をくぐった。

恩師、友人に会って昔話に花が咲いたが、半世紀前の小学生時代は貧しく苦しかったことしか頭の中に残っていない。

記念展示の資料の中から当時の教科書を見出し「こんな本あつたか」と顔を見合わす友達もいて大笑い。

学校で習う本は年上の人を使い古しであり、まして教科書以外には読む本も少なかった。裁縫室の片すみに、僅かな本が置いてあったのが当時の母校の図書室で、ほとんどが図鑑などの専門書、子供が親しむ童話などごく少なかったと記憶している。

今は窓ガラスの破れたあの木造校舎は勿論ない。立派な鉄筋校舎に改築されて、広い図書室もある。教育環境もよく整備されている。

私は、かつて、府下の市町村が行う学校建築事業の、補助金担当をしたことがある。どこの市町村も住民要望に応えて多くの事業を進めて行

かねばならず、さりとて、財源に余裕があるわけではなかつたが、時代の変化に対応した校舎建築をせねばならなかつた。

音楽室の音、調理室の匂い、静けさを求める図書室、限られたスペースの中で教室を如何に配置するか、

特に図書室は、将来の蔵書数、書架や閲覧机の配置など市町村教委の知恵の出しどころであった。

社会の急激な変化と科学技術の進歩は、我々の身の回りを大きく変えつつある。ビデオが普及し、ウォーキマンは若者の必需品となり、電卓は名刺サイズでポケットに、そしてワープロが手近な品となつてている。又、子供たちはテレビゲームに熱中している。

今回の教育改革では学校教育中心の考え方を改め、生涯学習体系への移行を主軸とする教育の総合的再編が図られている。学校では学習指導要領の改訂が行われ、自己教育力の育成と心の教育が大きく取り上げられている。ひろい心、ゆたかな創造

学校での子供の教育は先生にまかせればよい。しかし、生活のしつけや安全教育、読書教育などは父兄も責任をもつべきであると思う。親の読み聞かせをとおして子供たちを本に親しませたい。大人も読み聞かせのできる感性をみがくために、もつと図書館を利用してほしい。

さて、私自身図書館の仕事は初めてである、が、会報十五号にもあるように、理屈又キに図書館を好きになりたい。館に来られる人を好きになりたい。二十一世紀を担う心ゆたかな子供を育てる図書館の役割を自覚して、図書館との連携を深めていただきたい。



図書館めぐり

木津町立図書館は、昭和五十年八月に開館しました。それまでは、昭和二十七年から京都府立図書館木津分館があつたのですが廃館となつたことから、その蔵書約三千冊を引き継いで、元山城木津郵便局舎を改装整備したものです。JR木津駅から徒歩五分の商店街の一角に位置しています。蔵書は二万五千冊を備え、六十三年度には、七万二千冊の図書を貸出しています。

開館以来、地域文化の高揚に重要な役割を果たし、開館十周年、第十七回全国図書館大会で、日本図書館協会より施設表彰をうけました。

昭和六十二年には、「木津町における図書館のあり方について」社会教育委員会より答申され、木津町新図書館建設具体化のための調査がなされています。

また、今年の九月には、木津町ふるさと創生事業審査委員会にて、一億円アイディア創生事業の一つとして移動図書館車と積載図書が選ばれ、現在、その具体化が検討されつつあります。

木津町立図書館

木津町立図書館木津分館があつたのですが廃館となつたことから、その蔵書約三千冊を引き継いで、元山城木津郵便局舎を改装整備したものです。JR木津駅から徒歩五分の商店街の一角に位置しています。蔵書は二万五千冊を備え、六十三年度には、七万二千冊の図書を貸出しています。

開館以来、地域文化の高揚に重要な役割を果たし、開館十周年、第十七回全国図書館大会で、日本図書館協会より施設表彰をうけました。

昭和六十二年には、「木津町における図書館のあり方について」社会教育委員会より答申され、木津町新図書館建設具体化のための調査がなされています。

また、今年の九月には、木津町ふるさと創生事業審査委員会にて、一億円アイディア創生事業の一つとして移動図書館車と積載図書が選ばれ、現在、その具体化が検討されつつあります。

今後さらに、各種行事を積極的に実施し、広く町民の暮らしの中に、図書館が利用され、一日も早く学研都市木津町にふさわしい新図書館が建設されることを願っています。



京北町中央公民館

京北町は京都市の北隣に位置し人口は七千五百人、総面積二百十七平方キロメートルでその九十三%が美林でおおわれた静かな農林業の町です。

町の中心を通る国道一六二号線沿いにある京北町文化センターは、昭和五十五年に建設された鉄筋二階建、延べ面積四百六平方メートルの建物で、「文化村」を宣言した京北町の文化の担い手として積極的な活動を展開しています。

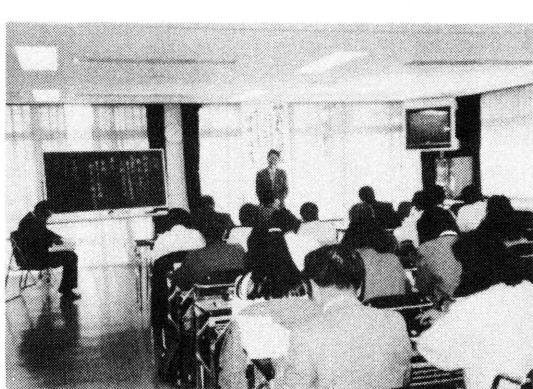


研修室においては水墨画教室の開催や俳句会・書道・詩吟など町民の趣味・娯楽活動が活発に行われています。

文化センターの年間総利用者は、町民の三分の二にあたる約五千人であり、その名の示す通り京北町の文化の中心として、文化の創造と発展のために積極的な活動を展開しています。

平成元年度の一泊研修会が、二十四日、二十五日に福知山市北陵総合センターで二十三館三十五名が参加して開催されました。

豊中市立岡町図書館の伊藤峻館長から「これから図書館」と題した講演が行われ、八幡市立八幡市民図書館の澤田種治館長、舞鶴市立東図書館の中西俊夫館長からそれぞれ実践発表がありました。各先生のお話に引き込まれ、時の経つのも忘れる程で質疑応答も活発、夜遅くまで熱心な討議が続きました。



当センターには図書室・文化財展示室・それに研修室があり、図書室では毎年定期的に図書を購入し、現在蔵書一万冊を有し児童、主婦層を中心とした幅広い利用者の要求にこたえています。文化財展示室では昨年二月に「京北のあけぼの展」を開催し町内の古文化を紹介し、町民とともに、それらの保存にも力を注いでいます。

**実務研修会（一泊研）
福知山市で開催**

一泊研修会に参加して

八木町立郷土資料館
図書室

国府諭史朗

舞鶴市立東図書館

竹之内英子

京都市伏見中央図書館

内ヶ島久美子

精華町立図書館 新林 金次

旧田中 善次

新林 芳男

旧上田 将

館長の異動

精華町立図書館 新林 金次
京都府立図書館 新林 芳男
旧上田 将

活用されているようで、うらやましく感じました。経験が浅く、難しい話にはついて行けないような私ですが、日頃交流のない他館の方々とお話をされた事は一番の勉強となりました。今回学んだ事を生かして、今後も励んで行きたいと思います。

に、日々努力されていることを控えめに話されましたが、数多くのパンフレットを見ると、簡単にはまねのできないものだとわかりました。フリー・トー・キングでも、おのおの自館の抱負や悩みを率直に語り合え充実した研修でした。

一泊研修には初めて参加したのですが、伊藤先生の「これから図書館」についての講演で、「図書館が住民のよりよく生きるために学ぼう」という要求にどれだけ応えていくのか。

その環境を作りだすためにどれだけいい資料を提供するのか。」という話に、小さな図書室の限られた中でどうすすめていったらいいのか示していただいているようでした。特に、本の選定の重要性、とりわけ本の選定が住民の要求にどれだけ切り込んでいるか等々、それをになう職員の役割の重要性を再認識しました。また、いま叫ばれている生涯学習の中で図書館はその中心的役割をなっていくものだが、他の社会教育施設、とりわけ公民館との連携は大切だと思いました。

今回初めて一泊実務研修会に参加しました。

第一日目は、豊中市立岡町図書館の伊藤先生の講演から始まりました。住民の知りたいという要求に応えるには、貸出しを中心の市民の図書館では無理なのでは、という先生のお話には少し疑問を感じながらも、レフアレンスに答えられる本が少ない我館の実情には、反省させられる思いでした。又、図書館が核になつて地域のネットワークを広めていくという話は、市民の信頼を得る図書館となるためにも、これから重要な課題であると痛感しました。

十月二十四日、二十五日の両日、福知山北陵総合センターで、第四十回実務研修会が実施され参加しました。一泊研修で気分もゆったり、研修もゆったりと言いたいところでですが、内容は、なかなかハードでした。

伊藤先生のお話は、身近な例と、具体的なアドバイスにあふれ、自館の場合と照らし合わせて考えると、より理解が深りました。

役員等の異動

副会長

新林 金次

(精華町立図書館長)

顧問

新林 芳男

(京都府立図書館長)

二日目は、八幡市民図書館の澤田館長と舞鶴市立東図書館の中西館長の事例発表がありました。府北部の図書館は、遠隔地へのサービスが行き届かないという問題がありますが、

八幡市は職員が多く、BMも幅広く聞かせてもらながら意見交流をさ

一泊だったので府下の図書館の職員さんと交流でき、また、二日目に八幡市と舞鶴市の図書館の事例を思いました。

舞鶴市立東図書館

の情報センターとしての確立を目指す



学 校 配 本

危岡市立図書館

昭和五十七年、子どもたちに読書の喜びをとの願いを込めて、学校への貸出しをはじめました。

当初、本の管理をまかせる形での配本は、仕事の多い先生方に、負担だったようです。三年目のアンケートでもそのことはかくしきれませんでした。子どもたちの喜びとは逆に、先生たちの困惑。図書館も思案しながら配本を続けました。

そして昨年、担当の先生に集つていただき、「図書が少ないので、この配本を楽しみにしています。本の管理と子どもたちの読書のことを考え、家への持ち帰りを少なくし、学級文庫のように使っています。」という話を聞くことができました。以後学級数だけ借りる冊数を増す学校もできました。一部の学校へは、紙芝居の貸出しもはじめました。全校読書会を催し、子どもたちのいきいきした姿を伝えて下さった学校もありました。

こんござらに、先生の負担を軽くし子どもたちに喜んでもらえるよう検討してみたいと思っています。

テーマ別図書の展示

京都市左京図書館

左京図書館では、図書館事業として、紙芝居、本の読み聞かせ、民話を題材としての絵本作り等を実施していますが、図書室の一部を「特設コーナー」として、テーマ（人権週間、健康読書フェア等）を決めて、常時関連図書の展示と貸出しを行っています。

本年度は、テーマ数十二、展示図書約三千冊の計画となっています。

関連図書の展示により、利用者に對してテーマに關係した記念日、月間等の意義の普及、啓蒙等に役立つ



講座 「源氏物語を読む」

京都府立図書館

京都府立図書館では、平成元年度の読書推進講座を十月九日から十一月十三日までの間、六回にわたり開催しました。テーマは「昨年好評で続いた希望の多かった『源氏物語を読む』」で、今回は末摘花から賢木までを、京都府立大学女子短期大学部の中井和子教授に講義していただきました。二百名を超える応募者の中から抽選で選ばれた七二名の方が毎回熱心に参加されました。全六回のうち十一月十一日は文学散歩として清涼寺で福田孝子先生の朗説を聞きました。当日はお天気にも恵まれ、小堀遠州作の庭園の前方丈に集まつて流れるような朗説に耳をかたむけました。後、清涼寺の三国伝来の祝

という啓発効果をあげるとともに、利用者から、館内を巡回せずに容易に関連図書を探し出すことができると好評を得ています。

また、図書館側でも、関連図書をピックアップする過程で、蔵書構成上参考になることが多い、今後の選書上、非常に役立っています。

迦像を拝観させていただき、野宮神社へと嵯峨野散策をし、神社では宮司さんから由来などを説明していました。だいたあと解散しました。

講座終了後のアンケートでも統篇を希望する事の多かったことを考慮すると、大変好評であったと思われます。



専門委員会ニュース

相互協力委員会

お待たせしました

「雑誌・新聞総合目録」刊行

相互協力委員会は、本年度2回目の会合を、10月26日に開催し、作成中の上記目録の全体構成確認作業と最終校正作業を行いました。

この記事が出る頃には、刊行されている予定です。

目録の概要は次のとおりです。

書名: 「京都府公共図書館等所蔵雑誌・新聞総合目録」

刊行: 京都府図書館等連絡協議会、京都府立図書館

装丁: B5版、約190頁

内容: 昭和63年10月末現在で、京都府内にある公共図書館、公民館図書室等43施設が所蔵する雑誌・新聞の総合目録。

本編（1580タイトル収録）と別編（1500余タイトル収録）からなる。別編は府立総合資料館の「逐次刊行物目録（昭和56年12月末現在）」の追録に相当。

この目録の特色は、公立図書館のみでなく、公民館図書室等も協力された目録であることだと思います。京都府図書館等連絡協議会の存在の大きさを今さらのごとく感じます。



今号には、京都府立図書館長の林芳男氏から、原稿をいただきました。このたびお届けしました「会報」では、先に福知山市で開催された「一泊研修会」や、図書館事業に関する情報などを、出来るだけ提供するよう努めました。

ご寄稿いただきました皆様方に、感謝申し上げます。

本紙に関するニュースなどお寄せ下さい。

研修研究委員会

1. 京庫連との共催事業

実技交流会の開催について

本年度は当初講師を招聘しての講演会を検討していましたが、実技交流会を持つことにしました。

日時: 11月22日(水) 10時から15時まで

会場: 府立労働会館6階 第2会議室

参加費: 無料 内容は巻絵、影絵、紙芝居、OHP実演、実技講習として折り紙サンタ外。クリスマス行事用の飾りやリース作り。

クリスマスを控えての楽しい催しで、堀口子ども文庫（城陽）の皆さん方はじめ各文庫からの出演。また実技講習では芸術短大の染川さんの一斉指導があり、ふうせん文庫・りす文庫の方々により、材料各自持参で作り、楽しい一時を過ごしました。参加者は100名で盛況でした。

2. 参考事務研究会 第3回研修会打ち合わせ

実技研修会の開催について

日時: 平成2年3月 午後1時～4時

会場: 未定

内容: 図書館の見学会と参考事務実技研修。他館を見学し参考図書類の説明後、それらの資料を使い例題の解決をする。（グループ別実習になる予定）

案内状発送は、各館へ平成2年1月下旬。

近公図研究集会日程

○奉仕部門研究集会
十二月七日(木)
京都堀川会館
(京都府立図書館)
整理部門研究集会
二月一日(木)
京都市社会教育総合センター
(京都市中央図書館)